

製造業、サービス業に改善の兆し。全産業で見ると大きな変化は見られず。

山口商工会議所では、管内中小企業98社を対象に景況調査を実施し、このほど令和5年4～6月実績と令和5年7～9月期見通しについての調査結果(回答数90社、回答率91.8%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

業況DI値について、前年同月比の今期(令和5年4～6月期)の状況を集計したところ、業況判断DIは、全産業では▲34%から▲32%とほぼ変わらず。産業別に見ると、製造業とサービス業は改善が見られた。売上については、サービス業以外は減少している。仕入単価は、小売業、サービス業以外は低下が見られた。従業員数は、小売業以外は減少が見られ、特に建設業は前期に比べ0%から▲43%と大幅に減少している。

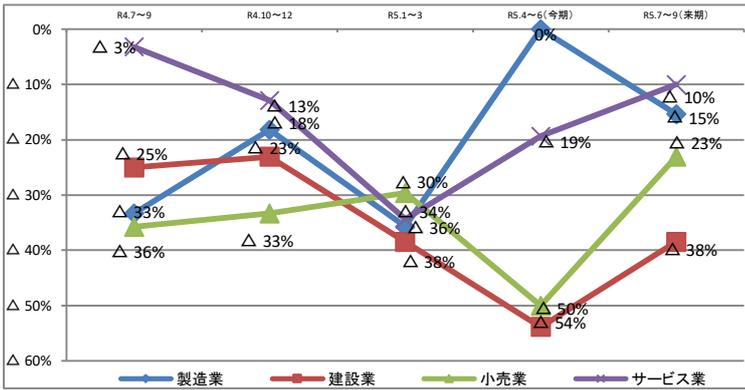
今期中に設備投資を実施した企業は全体の17%、来期設備投資を実施予定の企業は21%であり、前回調査と比較すると設備投資への意欲が増加している。設備投資を行うことにより業況にどのような変化が見られるか注目していく。

経営上の問題点については、依然として仕入単価の上昇が上位に入っており、価格上昇が継続していることがうかがえる。また、需要の停滞も上位に入っており、仕入単価の上昇かつ売上が減少していることにより、経常利益があまり改善されないと予想される。

◆業況DI値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 32%	→	△ 22%	→	△ 28%	→	70%	→	△ 36%	→	△ 11%	→
製造業	0%	↗	0%	↘	△ 36%	↗	87%	↘	△ 21%	↗	△ 7%	↘
建設業	△ 54%	↘	△ 50%	→	△ 21%	↘	71%	↘	△ 50%	→	△ 43%	↘
小売業	△ 50%	↘	△ 43%	↘	△ 36%	→	68%	→	△ 39%	→	4%	↗
サービス業	△ 19%	↗	0%	↗	△ 20%	↗	62%	↗	△ 33%	→	△ 10%	→

◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）

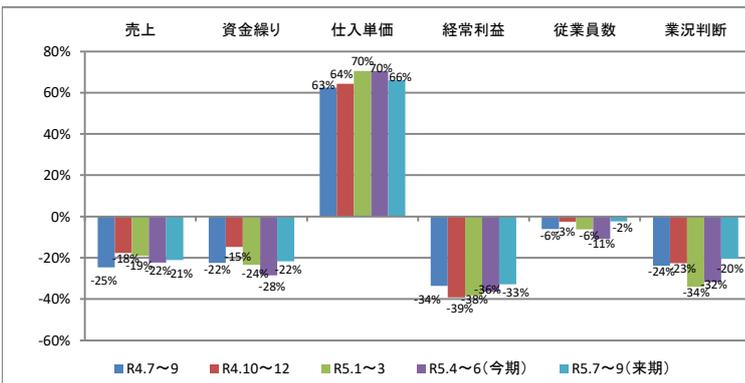


◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

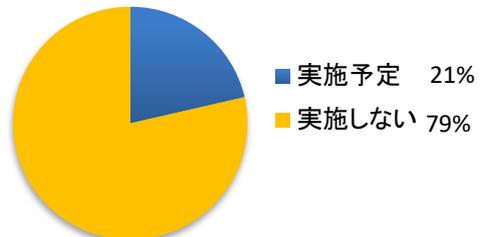
【今期設備投資】



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期設備投資計画】



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇 29.7%	熟練技術者の確保難 18.9%	仕入単価の上昇 17.8%	利用者ニーズの変化への対応 15.2%
2位	原材料費・人件費以外の経費の増加 13.5%	官公需要の停滞 18.9%	需要の停滞 16.4%	材料等仕入単価の上昇 15.2%
3位	需要の停滞 13.5%	民間需要の停滞 18.9%	消費者ニーズの変化への対応 13.7%	人件費以外の経費の増加 13.9%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。